

## 編集後記

このたび『放送大学文化科学研究』の第5号を発刊することができました。これもひとえに皆様方（執筆者である修了生の方はもちろん指導された先生方、事務方、編集業者の方、そして刊行を待たれていた読者の方々）のお陰であると編集委員を代表して心より御礼申し上げます。

目次をご覧になるとお分かりのとおり放送大学大学院で学ばれた皆さんのテーマは多岐にわたります。また、書式も横書きだけでなく、縦書きもあつたりします。これは六つのプログラムがあることに加え、多くの学生が、学生と仕事あるいは家事との二足の草鞋を履いていることにも関係があります。社会とのつながりの中で「なぜだろう」「どうしてだろう」と感じたことをテーマにして、その解決の糸口を示してくれています。一方で、芸能や古典について趣味の範疇を乗り越えて学問としたテーマもあります。どのテーマも、現実の仕事や生活、長年抱いていた興味や関心にもとづいた地に足のついたものですので、たとえ専門分野が違っ

ても読む者を魅了して止みません。このことは「学生論文集」として紙媒体で2004年に刊行された『Open Forum』からずっと受け継がれている放送大学大学院の教育研究活動の成果であり、誇りでもあります。

大学院を修了した少なくない皆さんが、教員やインストラクターといったいわゆる「先生」となっています。教える立場になると「私はまだ何も知らない」と知り、再び学部や大学院の門をたたきます。こうして、生徒が先生になり、先生が生徒になるという「知の循環」つまり生涯学習のあり方の一つが体现されているのです。この論文集が多くの方の目にとまり、一人でも多くの人が知の循環に入られるきっかけとなることを切に願います。

2026年2月11日

2025年度 教育研究活動委員会

オンラインジャーナルワーキンググループ主任

齋藤 正章

## 放送大学文化科学研究 第5巻

The OUJ Journal of Arts and Sciences Vol.5

2026年2月20日発行

[ 編集 ] 2025年度 教育研究活動委員会

オンラインジャーナルワーキンググループ

[ 発行 ] 放送大学

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2-11

Tel : 043-276-5111 (総合受付)